



平成29年8月15日

富山市  
福祉保健部 保健所保健予防課  
結核・感染症係  
電話 428-1152 (直通)

## 腸管出血性大腸菌（O157）<sup>オー</sup>感染症患者の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 患者の発生状況

- (1) 患者 市内在住の男性（60歳代）
- (2) 経緯 8月6日（日）昼頃より腹痛、下痢、血便が出現。  
7日（月）腹痛、血便が持続し、医療機関入院となった。
- (3) 診断 8月14日（月）腸管出血性大腸菌O157（VT1VT2）感染症と診断。
- (4) 症状 症状軽快し退院。

#### 2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

#### 3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅の消毒を指示

#### 4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況【参考】

別紙のとおり

#### 予防対策について

- 食べ物は十分加熱しましょう  
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
- 手洗いと消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）
- 下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

AMAZING TOYAMA

(別紙)

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（患者数）

	平成 29 年	平成 28 年 同時期延べ数	平成 28 年 総数
	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)
○157	9 (本事例を含む) (7) (本事例を含む)	0 (0)	4 (3)
○26	7 (1)	3 (1)	39* (34)
○145	0 (0)	1 (0)	1 (0)
○121	0 (0)	3 (0)	3* (0)
○91	3 (0)	0 (0)	0 (0)
腸管出血性 大腸菌感染症 計	19 (8)	7 (1)	47 (37)

※○26及び○121の混合感染1名はそれぞれに含む。